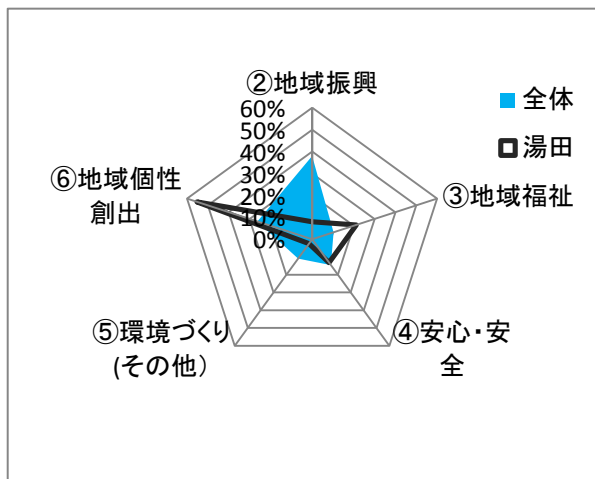


# 湯田地区コミュニティ運営協議会 地域づくり交付金事業概要(平成27年度)

## ■地域の情報

地域人口	13,022人	自治会数	15
世帯数	6,055世帯	自治会加入率	79.26%

※数値は、平成28年4月1日のもの



## ■決算状況

交付金配分枠	10,098,000 円
交付金決算額	9,903,165 円
その他収入	300,446 円
交付金決算額/配分額	98.1%

## 各分野の決算

①協議会運営	3,739,902 円
②地域振興	346,724 円
③地域福祉	917,000 円
④安心・安全	569,303 円
⑤環境づくり(土木工事)	2,133,000 円
⑤環境づくり(その他)	105,456 円
⑥地域個性創出	2,392,226 円
決算総額	10,203,611 円

## ■地域づくりの活動方針(テーマ)

「優しく、美しい、誰もが、安心するまちづくり」をキャッチフレーズに、住民及び各種団体が連携して第1次計画の最終年度の事業成果を検証しつつ、第2次地域づくり計画を策定していきます。

## ■総括

これまでの事業成果を検証しながら、第2次地域づくり計画策定を考えた1年でした。ワークショップや部会での振り返りと、今後の事業計画の話し合い、また策定委員の先進地視察等を行い、気軽に話ができる関係づくりがみんなの中に少しずつ出来てきました。温泉を活用した地域づくりを目指して、まちを元気にすることに意欲的に関わる人材の発掘や、地域・学校・コミュニティが一体となった取組みを行っていきたいと思います。

## ■分野別事業名

① 協議会運営	事務局の運営体制
② 地域振興	広報誌の発行、ホームページの更新、健康福祉部会研修視察
③ 地域福祉	ふれあい会食会、敬老事業助成、生涯学習の推進、ふれあい型給食サービス、スポーツを楽しむ日、世代交流事業、母子保健事業、人権学習の推進
④ 安心・安全	防災・減災活動等の推進(ふれあい安心・安全フェスタ)、防犯活動の推進、校区内巡回活動・子ども110番、湯田中学校VS活動、反射鏡設置等補助、安全設備等の設置
⑤ 環境づくり	法定外公共物整備事業、環境美化活動
⑥ 地域個性創出	第51回湯田地区町内親睦大運動会、第28回湯田ふるさとまつり、歴史や産業を学ぶ交流研修、ふるさとづくりミステリーハイキング、熊野公園里山づくりの会、行事用品等整備、ふるさとまつりステージ購入

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	防災・減災活動等の推進	決算額	271,939円
	目的	地域の安心安全に対する意識の高揚を図る。		
	実施内容	「ふれあい安心・安全フェスタ」を開催し、警察・消防関連機関及び地区内関係団体の協力連携のもと、各種イベントを実施。		
	実施時期	平成27年9月27日		
	参加人数	約600人		
	成果	各種イベントを通じて、参加者に防災意識の高揚が図れた。		
	評価	各行政機関と地域住民との親睦・連携を深めることができた。また、出展ブースの担当者から来年も呼んでほしいといった声をいただいた。		
	今後に向けて	情宣、内容に工夫を加え、更に充実したものにしていきたい。		
②	事業名	熊野公園里山づくりの会	決算額	73,351円
	目的	権現山を市民手作りの公園に整備し、児童の遊び場及び地域住民の憩いの場とする。		
	実施内容	夏期、秋期に公園整備を実施。		
	実施時期	平成27年7月5日及び11月22日		
	参加人数	・夏期整備 54人 ・秋期整備 60人		
	成果	概ね、きれいな状態に整備できた。		
	評価	地域の参加者も多く、効率よく作業ができたことに合わせて、交流も深めることができた。		
	今後に向けて	公園の維持に向けて整備を行っていきたい。		
③	事業名	歴史や産業を学ぶ交流研修	決算額	455,989円
	目的	地域の歴史や産業にちなんだ研修を行い、併せて世代間交流を図る。		
	実施内容	産業ツアーとして、かまぼこ工場や下関・北九州工場見学、また茶摘み体験を実施。		
	実施時期	平成27年7月23日及び平成28年3月5日		
	参加人数	総計87人		
	成果	普段見ることのできない工場の見学や体験を通じて、産業について学習できた。		
	評価	子どもたちの産業への関心が深まり、併せて世代間交流もできた。		
	今後に向けて	今後も継続的に実施することで、学習の場のみならず、世代間交流の場としての事業としても実施していきたい。		